

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさんあげすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画が実施できているかの評価やモニタリングが行える書式になっていない。 また、計画書に目標を掲げてない為、達成できたか否かの確認ができにくい。	利用者個々に沿った、目標設定を行った介護計画に基づき、サービスの提供、モニタリングおよび評価ができるようになる。	介護計画書の様式の変更と実施。	12ヶ月
1	23	暮らしに対する意向や希望について、意思表示の困難な利用者に対して、その場しのぎの対応になっており、職員間での共有する機会がない。	意思疎通が困難な利用者の思いを掘り下げ、職員間で確認してもらえるような、認知症ケアができるようになる。	センター方式等の様式の活用と実施。	12ヶ月
3	8	自己評価を通して、職員より権利擁護に対する制度の理解と活用について学ぶ機会を設けてほしいという意見があった。	職員の意欲に応じて研修の実施を行い、知識として得る。	日常生活自立支援事業や成年後見制度についての研修を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。項目が足りない場合は、行を挿入してください。